

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)

【公開番号】特開 2003-193804 (P2003-193804A)  
 【公開日】平成 15 年 7 月 9 日 (2003.7.9)  
 【出願番号】特願 2002-352590 (P2002-352590)  
 【国際特許分類】

**F 0 1 D 5/18 (2006.01)**

【F I】

F 0 1 D 5/18

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成 19 年 6 月 12 日 (2007.6.12)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】特許請求の範囲  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ターボ機械の高圧タービン用の移動ブレードであって、  
 少なくとも 1 つの冷却回路を有し、該冷却回路は、  
 ブレード (10) の先端部 (16) と基端部 (14) との間で径方向に延びる少なくとも 1 つのキャビティ (24) と、  
該少なくとも 1 つのキャビティの径方向端部の一方に設けられ、且つ前記少なくとも 1 つの冷却回路に冷却空気を供給する少なくとも 1 つの吸気口と、  
前記少なくとも 1 つのキャビティからブレードの後縁 (20) 近傍のブレードの側面に開口する複数の溝 (26) とを備え、該溝は、少なくともブレードの基端部に最も近い溝を除いては、ブレードの長手軸 (X - X) に対して略垂直となるように、ブレードの基端部と先端部との間に配置され、ブレードの基端部に最も近い前記溝 (28) は、ブレードの回転軸に対して 10° から 30° の角度を成して、ブレードの先端部に向かって傾斜していることを特徴とする、移動ブレード。

【請求項 2】 ブレードの基端部に最も近い溝 (28) の傾きが約 20° であることを特徴とする、請求項 1 に記載のブレード。

【請求項 3】 ブレードの基端部に最も近い溝 (28) の上流側端部 (28a) は、高圧タービンを通じて流れる燃焼ガス流のための壁部を画定するプラットフォーム (22) とブレードの基端部との間の接続領域 (30) に本質的に形成されていることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のブレード。

【請求項 4】 ブレードの基端部に最も近い溝 (28) の上流側端部 (28a) の鋭い角が、削られていることを特徴とする、請求項 3 に記載のブレード。

【請求項 5】 請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の移動ブレード (10) を複数有することを特徴とする、ターボ機械の高圧タービン。

【請求項 6】 請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の移動ブレード (10) を複数有することを特徴とする、ターボ機械。

【誤訳訂正 2】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0016  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【0016】

本発明の有利な特徴によれば、ブレードの基端部 14 に最も近い溝 28 の上流側端部 28 a は、基本的に、ブレードの基端部 14 と燃焼ガス流の近傍のプラットフォーム 22 との間の接続領域 30 に形成されており、これにより、前記溝を通じて排気される空気は、熱伝導によって、接続領域 30 を冷却するようになる。したがって、ブレードの基端部 14 とプラットフォーム 22 との間の接続領域 30 の温度は、約 1 . 5 % だけ冷却される。接続領域 30 の冷却を促進するため、溝を通じて排気された空気が、前記領域 30 に向けて容易に案内されるように、溝 28 の上流側端部 28 a の鋭い角は削られている。また、ブレードの基端部に最も近い溝 28 の下流側端部 28 b が、接続領域 30 に形成されていないため、様々な機械的応力に耐えることができるブレード 10 の能力は、溝のこの特定の形状によって影響されない。